



【歴史ぬりえ(1)】「つっこ」をつかったマツリ

〈つっこって…?〉

「つっこ」は、うすい黄色をしたニワトリで、小郡市埋蔵文化財調査センターのキャラクターです。小郡市津古にある津古生掛古墳でみつかった、ニワトリの形をした土製品（土でつくられたもの）がモデルになっています。

〈つっこは何につかった?〉

津古生掛古墳は、今から1700年くらい前につくられたお墓です。そのころの小郡のリーダーだった人が、ほうむられたと考えられています。

このとき、イラストのように、鏡や土でつくった入れ物など、さまざまな道具をつかったマツリ（特別な儀式）が行われていたことがわかっています。「つっこ」も、きっとこのマツリに必要な道具だったにちがいありません。

埋文センター
イメージキャラクター「つっこ」

